

# コミュニティ 茨曾根だより

協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。

## 第12号

令和5年3月17日発行

発行：コミュニティ茨曾根  
連絡先：新潟市南区茨曾根 3443  
茨曾根地域生活センター  
Tel 375-2035

### 会長挨拶

コミュニティ茨曾根  
会長 伊藤 眞

平素はコミュニティ茨曾根の活動につきまして、地域の皆様には特段のご理解ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

コロナ禍の状況の中、昨年度まで茨曾根地区での事業も中止したり縮小したりと、停滞した状況が続いておりました。

今年度は、制限のある中でもなんとかできることをやっつけていこうという動きが生まれ、初めての試みである茨曾根フェスティバルやどんど焼き、敬老事業などを実施することができました。

また、昨年度から継続して白根地区公民館とコミュニティ茨曾根が連携して取り組んでまいりましたコミュニティコーディネーター育成講座（CC講座）につきましては、白根高校生が提案してくれた「いばらそねアイスキャンドル・イルミネーション」の形となり、大盛況のうちで開催することができました。コミ協、小学校、公民館、高校生が一体となり一つの事業に取り組み、多くの地域の方々に参加を頂き、喜ばれる結果となったこと、大変嬉しく思います。

なお、事業におきましては、地域役員の方々の多大なご協力なしでは実施できませんでした。この場をお借りして感謝を申し上げます。

来年度も、今年度の経験・反省を生かし、様々な取り組みや事業を実施していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### 環境美化活動

7月30日（土）に、茨曾根地域生活センターと農村公園周辺の除草、樹木の剪定を行いました。

また、11月11日（金）にはパンジーと葉ボタンの花苗をプランターに植栽し、昨年からさらに数を増やして茨曾根地域生活センター玄関に設置しました。玄関周りに彩りがうまれ華やかになり、利用者の方々からも喜ばれています。



### 防災への取り組み

今年度、防災士資格を  
取得されました。

下茨自治会

石川 拓志 さん

今後、茨曾根地域の  
防災リーダーとして  
活躍を期待しています！



## 茨曾根地区

### コミュニティ懇談会

9月2日(金)、茨曾根地域生活センター2階講堂において、茨曾根地区コミュニティ懇談会(区長と語る会)が開催され、五十嵐区長、南区担当課長らと活発な意見交換が行われました。内容について以下の通りご報告いたします。

#### テーマ1

#### 公共交通について

区バスや乗合タクシーだけでは限界があるため、コミ協として買い物支援を考えた場合、車両の保険や運転手などの問題から現状では難しい。区として今後どういう取り組みを考えているのか。

回答：区バスは高齢者が通院しやすいよう利用実態に合わせたルート設定を行っています。

区では、地域の皆さまの力で課題を解決していく「支え合いのしくみづくり」への支援を

行っています。今後、買い物支援や通院支援などを検討する際に活用していただきたいと思えます。

通学時は南区の北部と南部で地域差があるが、どう考えているのか。

回答：区バスのルートについては、亀田方面や加茂方面への高校生の生徒数に応じて便数の増減を行っています。

隣接する学校と放課後児童クラブを結んだり、地域の茶の間などへの移動手段として使えたりするバスが一台あると地域支援につながる。そういう交通の利便性の担保を考えてほしい。

回答：ご意見を参考にさせていただきます。

乗合タクシーは利便性が悪く、最寄りのバス停でしか降りできない。柔軟性のあるオンデマンド交通を検討してほしい。

回答：これまでも柔軟性のあるバスということから、乗合タクシーが始まりました。今後も高齢化の状況を注視し対応していく必要があると思えます。

#### テーマ2 空き家対策について

空き家については所有者にきちんと管理してもらいたい、あまりにも管理がひどい場合、自治会としてやはり不安がある。

行政としては所有者に連絡をし、注意喚起を行うしかないというのはずで、お聞きしているが、例えば、草木が道路に出て明らかに邪魔になっている場合は、わざわざ市に連絡をし確認をとる等しなくても切断できる、などある程度自治会の裁量をもたせてもらうような取り決め等を作るといったことはできないものか。

回答：民法上、他人の財産を承諾なしに手を加えることは、現実的に難しい状況ですので、まずは区に連絡していただきたいと思います。

令和5年4月の民法改正によ

り、所有者に連絡が取れない場合は枝を切り取ることでできるという仕組みが整備される予定です。ただ、費用負担などの運用方法が見えてこないため、注意が必要です。

#### テーマ3 防災について

自治協議会で南区防災マップを作っているようだが、自治会向けの防災マップを作る場合は自費で、という話を聞いている。作成する場合補助金などはあるのか。

回答：他の地区においても自



治会やコミ協単位で、地域の実情に合わせた地域限定の防災マップを作っています。

防災マップを印刷するだけでなく、塀が倒れそうな通学路や大雨で溢れる排水路などの細かな情報を出し合いながら、防災活動として作り上げていくマップ製作に対しては地域活動補助金を活用していただきたいと思っています。

コロナ禍の避難所は検温や消毒、ソーシャルディスタンスなど運営方法が変わってきている。そういう運営方法はどうすればよいのか。

回答：これまで避難所として学校は体育館しか使用できませんでしたが、避難先のエリアを拡大して感染リスクを下げるため、音楽教室などの特別教室も使用できるようになりました。また、コロナ禍での避難先は避難所に限るものではなく、安全な親戚や知人宅等への分散避難の検討もお願いしています。

運営方法については、地域の皆さまから避難所運営委員会を立ち上げていただき、運営体制などを検討していきます。

災害が発生すると茨曾根だけの話ではないので、個々の防災訓練ではなく新飯田、庄瀬との合同による防災訓練も必要ではないか。

回答：ここ2年はコロナということもあり、自分たちだけでコロナ対策を踏まえた訓練をお願いしてきましたが、本来であれば白南中学校がありますので3地区合同での訓練も必要であると考えます。

白南中学校の避難所運営委員会は3地区合同で運営する方向と伺っておりますので、委員会の中でご提案いただければと思います。区でも訓練助成金や3地区区合同での取り組み方のご提案など、支援してまいります。

昨年12月に白南中学校区の避難所検討会があったが、その後何も進んでいない。

回答：コロナ禍で皆さまにお集まりいただくことが難しい状況が続き、白南中学校以外の検討会の開催に時間を要している状況です。白根側4校区の検討会が終わりましたら、次の話し合いに入らせていただく予定です。今年中には地域の皆さまにお話しさせていただきますと考えています。

#### テーマ外の意見等

#### 学校再編について

少子化は事実なので、それを見据えて対処していかねければならない。

白根第一中学校でも教室に空きがあると思うので、白南地区は白南中学校ではなく白根第一中学校に行き、白南中学校に3つの小学校を移動させるという案もある。

回答：一つの案として参考にさせていただきます。

#### 子育て支援について

茨曾根の放課後児童クラブは、

市の公的なひまわりクラブになれないため保護者が運営しているが、運営を維持していくには厳しい状況である。

区内には茨曾根のほかに民設のクラブがあるが、どこも運営が厳しい状況であることを理解してほしい。

回答：他の区でも運営費が不足しているということを知っています。

所管することも政策課と積極的に意見交換をさせていただきたいと思っています。

#### はかるう体重！

#### あるこう南区！大作戦

#### 茨曾根地区達成賞抽選会

12月13日（火）、茨曾根地域生活センターにて地区限定達成賞の抽選会がコミ協役員において行われました。

当選者の方5名には、達成賞の「スターバックスカード」をお送りしました。



## 茨曾根地区

### 社会福祉協議会

令和4年度の活動報告

コロナオミクロン株の感染の波が押し寄せる中、マスクをして注意をしながらも地区社協としての活動を進めて参りました。

#### ◆地区社協研修会 七月十六日

南区地域福祉アクションプラン勉強会

#### ◆在宅福祉訪問事業 年3回

一人暮らし高齢者70歳以上  
寝たきり介護者、身体障害者等  
地域の対象者を自治会長が訪問、  
お弁当の配布と現状を確認  
見守り活動を行いました。  
現在 茨曾根地区は、  
40名の対象者です。

#### ◆敬老会 九月二十三日

コロナ感染の恐れがある為、  
今年は、大勢が集まる様な  
形式は取らず希望される方  
に記念品を届ける事になり  
ました。内容は、  
**お赤飯とお酒**  
**紅白饅頭と和菓子**でした。



#### ◆安心箱支援事業

十二月七日

今年は、災害時用非常持ち出し防災箱を福祉訪問対象者に配布いたしました。



## 茨曾根地区自主防災会

令和4年度の活動報告

#### ◆防災視察研修 五月三十日

秋葉区天ヶ沢地区自治会  
自主防災会の取り組みを視察する  
参加者  
茨曾根地区自主防災会会長他6名

山の斜面に位置する天ヶ沢地区は、常に土砂災害を警戒し、様々な形で住民の身を守る事を重点とした訓練を実施している防災最新地区です。天ヶ沢地区自治会では、難行動要支援者、避難困難者の方をどの様に非難させるか自治会で何度も検討を重ね「助け合い名簿」を作成し、誰でもが行動出来るように大きな自治会防災地図の作成、自治会員全世帯参加で毎年決めた日に避難訓練を実施していました。今回の視察研修で学んだ事を基に、茨曾根地区でも避難行動要支援者、避難困難者の方の助け合い名簿作りより実災害に備えた避難訓練の実施を進めて参ります。

#### ◆下茨自治会自主防災会 防災訓練 七月三日

訓練内容「安否確認の取り方」  
下茨自治会では、年2回の防災訓練を行う事に決め、今回は、地域住民の安否情報の集約訓練を致しました。



が印  
ブ目  
一認  
テ確  
色否  
黄安



#### ◆茨曾根地区自主防災会 全体防災訓練 十月二日

訓練内容「災害対策本部」の立ち上げ訓練と第1回防災アンケートの実施

#### ◆茨曾根地区防災マップの作成

各自治会別に拡大した地図を作成、書き込み可能なマップです。避難行動要支援者、避難困難者の把握と避難経路等に活用して避難訓練を実施して行きます。

# 南区地域福祉 アクションプラン

新潟市が策定する「地域福祉計画」と新潟市社会福祉協議会が主体となり地域の生活課題の解決策を見つけ出す「地域福祉活動計画」を南区として一体的に策定したものを、「南区地域福祉アクションプラン」と言います。



## 令和4年度茨曾根地区の 取り組み報告

茨曾根地区アクションプラン推進委員  
上杉 小貴子

### 推進目標

1. 支えあいのしくみづくりの推進  
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしを続けられる為に、地域が主体となつて行う取り組みを支えあいのしくみづくりと云います。

地域の茶の間の推進、交流会、介護予防

### 茨曾根地区のお茶の間

- ◎清水ふれあい会・・・月一回
  - ◎上茨みのり亭・・・月一回
  - ◎下茨五九朗会の茶の間・・・月一回
  - ◎東萱場元気会・・・月一回
  - ◎丸瀧ハッスル会・・・班会
  - ◎道瀧いきいき広場・・・月二回
  - ◎新村・・・月一回
- コロナ禍でも地域のお茶の間に開催して参りました。高齢化に伴い年々参加者が減少しています。又、高齢になつた世話役の負担が重く軽減が今後の課題です。



### 新たに地域のお茶の間誕生 「庚いきいきサロン」

庚の方からの要望があり、庚自治会と南区社会福祉協議会、地域包括支援センターの協力でお茶の間が誕生しました。これまで、茨曾根地区で唯一お茶の間活動がなかった庚に誕生したことは何よりもうれしい報告です。

- ◎日時・・・毎月第2木曜日  
午前十時～
- ◎場所・・・庚ふれあいセンター

◎みんなでフレイル予防と健康体操を目的に集い情報交換等を行いながら楽しんで行きましょう。



皆で相談しあう  
地域に

困った時は



具だくさん鍋等  
手作り品持ちより  
美味しく頂きました。

### 白南中学校 「大好き新潟 南区地域福祉アクションプラン の実現をめざして」

今年も白南中学校2年生の総合的学習の時間で取り組みました。生徒達は、少子高齢化、人口減少に伴う地域課題を自分事として捉え、その解決方法や自分ができる事を追求して、企画提案する活動です。アクションプラン推進員は、生徒達の疑問や質問に答え、地域課題についてアドバイスをさせて頂きました。



※この白南中学校生の取り組みが「文部科学大臣賞」を受賞いたしました。

本当に素晴らしい事と思います。一月、五十嵐南区長、市議会議員、等多くの招待者の前で生徒達は、見事にプレゼン発表を致しました。

# 茨曾根フェスティバル2022 10月22日

## 2. 子供達を地域で育てる取り組み

南区自治協議会提案事業・令和4年度「南区まちづくり活動サポート事業」にて実施出来ました。



出演者紹介



練習風景



子供達に表現する楽しさと舞台上で発表する事で自信につなげて欲しいと願って！  
 演劇：「コンタと光のきつねの嫁入り」 大人と一緒に夏休み中に練習しました。

### 茨曾根小学校文化祭との共催

### 本番直前の風景



一年生・二年生は  
 親子で出演  
 衣装を着て可愛ら  
 しく変身  
 楽しく踊れました。



### 茨曾根音楽講座 子どもバンド THE・FKI

### 燕飛燕太鼓保存会 (下茨・関根親子出演)



とてもキレイがあり素敵！  
 白南中学校生  
 よさこい踊り

# 茨曾根どんど焼きと 1月22日(土) 夜の茨曾根を飾るアイスクャンدل&イルミネーション

前日の悪天候から風雪で当日の開催が危ぶまれましたが、無事どんど焼きを開催出来ました。

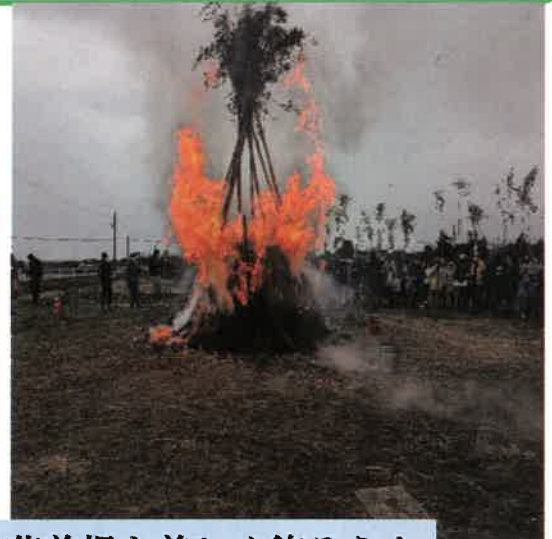
## スルメを焼くのは、日本全国でも 新潟県だけだと知っていましたか？

新潟では、どんど焼きで焼いたスルメを食べると「1年中無病息災で過ごせる」と言い伝えがあり福スルメとも呼ばれるそうです。また、燃やした書初めが燃えて高く舞い上がると習字が上手になり勉強も出来るようになると言われています。

どんど焼きは、「お正月に迎えた神様を炎と共に見送る」行事です。火は穢れ(けがれ)を浄め竹が火に焼ける音は災いを退け、高く上る煙に乗って正月の神様は帰ります。



子供達の無病息災を願って笹竹にスルメを取り付けモグラ持ちの唄と大きな音をたてて畑に向かいます



## 白根高校生達が考えた

### アイスクャンدلとイルミネーションで夜の茨曾根を美しく飾ろう！

夜6時より開催 会場：茨曾根小学校校庭



白根高校生達の手作りペットボトルツリーにカウントダウン点灯！！  
一斉に歓声上がり、校庭が色鮮やかに輝き幻想的な世界へと変わりました。



牛乳パックで作ったアイスクャンدلは中の空き缶に熱湯を入れて抜き取り、牛乳パックを剥すと透き通った綺麗な器が現れ、中にろうそくを立てて灯りを灯すとゆらめくアイスクャンدلになりました。とても神秘的な美しさがありました。



子供達が大喜びでした！

白根高校生の訪問受入れ、アイスクャンدلの制作と当日凍った牛乳パックを持参下さり有難う御座いました。ご協力感謝申し上げます！

子供達を地域で育てる取り組み

**世代間交流**

**下茨の老人会・五九朗会の畑「生き甲斐農園」収穫祭**

**7月じゃがいもの収穫**

地域の子供達が老人会の畑で育てたじゃがいもの収穫をお手伝い



**10月さつま芋の収穫**

育ち過ぎたさつま芋を皆で力を合わせて収穫しました。



つるが伸び放題、子供達は大きなさつま芋をたくさん収穫できました。

茨曾根地域の宝

**令和4年度の活動を振り返って**

- ★茨曾根コミ協が白根高校生にお願いした地域課題は、地域住民が楽しめ長く続けられる新たなイベントの提案でした。白根高校生は探求の授業で取り組み、提案イベントは「茨曾根フェスティバル」と「どんど焼き&アイスクャンドル」でした。両方実行する事が出来、どちらも大成功を納める事が出来ました。ひとえに白根高校生の積極的な参加協力と白根公民館の多大な尽力のお陰と思います。
- ★白根高校生が考えた「茨曾根かるた」は茨曾根小学校に寄贈されました。ペットボトルツリー8個（カラーライトと共に）と、ペットボトルキャップで作った茨曾根パネルはコミュニティ茨曾根に寄贈して頂きました。
- ★夜のアイスクャンドルで、白根高校生がアンケート調査を行いました。結果、95%の方（とても良かった84%・良かった11%）が喜んで下さった事が分りました。
- ★「寒い中、頑張ってくれてありがとう。とても綺麗でした。」「子ども達が非日常的なイベントを体験する事ができて喜んでいました。親としても楽しかった」「このようなイベントは茨曾根では初です。参加して良かった」「素晴らしいイベントでした。どんどん進化していくイベントとなって続けてほしいです。」「牛乳パックや空き缶でエコな感じも好感もてます。アイデアでこんなにも素敵な事ができたイベントでした。白根高校生に感謝です」等、多数回答いただきました。
- ★「茨曾根フェスティバル2022」の文化祭芸術部門で、白南中学校和泉哲章校長より書道の寄贈があり、チャリティーでご希望の皆さんに購入頂きました。ご協力誠に有難うございました。

**和泉校長は、新潟県書道展の審査員及び新潟県書道教育研究会理事を務め多方面でご活躍中です。**



※チャリティーの売上金は、公民館推進事業に活用させていただきます。今後のイベントで使用させていただきます。